

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内（八丈町・青ヶ島村）



タメトモユリ



ストレチア

【定点把握疾患】2025年 第50週（12月8日～12月14日）

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：6件
インフルエンザ：3件、COVID19：2件

青ヶ島 なし

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第49週（12月1日～12月7日）

・インフルエンザの定点当たり報告数は25.17と先週より減少しています。

加湿器の衛生管理 【レジオネラ症予防】

八丈出張所管内（八丈町・青ヶ島村）では、湿度が高い地域であるため、加湿器の使用率は低いかもしれません。暖房を使用した室内の湿度は30～40%程度になる場合があり、加湿器の使用を検討又は使用中の方に加湿器を介した感染症と予防についてのお知らせです。

レジオネラ症とは

レジオネラ症は、人から人に感染することではなく、レジオネラ属菌を含んだ微細な水しぶき（エアロゾル）を吸入することで起こる感染症です。衛生管理の不十分な水循環設備（冷却水や循環浴槽水など）が感染源となることで知られていますが、加湿器（特に超音波式加湿器）が感染源となることがあります。レジオネラ症は、乳幼児や高齢者など抵抗力の低下している人がかかりやすい傾向にあり、重症の肺炎が起こるレジオネラ肺炎と発熱など軽い症状のポンティック熱とに分けられます。

	潜伏期間	主症状	特徴
レジオネラ肺炎	2～10日	高熱、寒気、筋肉痛、吐き気、意識障害など	重症になり死に至る場合もある。
ポンティック熱	1～2日	発熱、寒気、筋肉痛	非肺炎型。一般に数日で軽快する。

加湿器の給水タンクや給水トレイなど水が停滞しているところでは、レジオネラ属菌のすみかとなるぬめり（生物膜）が作られやすい環境にあります。加湿器のなかでも超音波式加湿器は、超音波により給水タンク内の水を、そのまま微細な水しぶきとして放出させます。そのため、給水タンク内の水がレジオネラ属菌で汚染されると、レジオネラ属菌も一緒に空間へ放出されてしまいます。

※超音波式加湿器と同じ機能を有する機器にも注意が必要です

加湿器を安全・快適に使用するためのチェックポイント！

- ①加湿器の給水には、水道水を使いましょう。
- ②毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。
- ③ぬめりを除去しましょう。
- ④使用終了時には乾燥させてから保管、使用再開時にはよく洗浄してから使用しましょう。



東京都保健医療局 加湿器の衛生管理



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/2025-03-06-145248-115>

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト）<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

